

## 地域密着型サービスの自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設時より、私らしく、そして貴方らしい生活の継続をして頂く為に、地域性を踏まえ、入居者中心に寄り添ったケアをしていく理念を挙げている。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	各館の見やすい場所（玄関・リビング）に掲示している。昨年、理念についてアンケート等を実施し、実践について、意識付けを行い、日々のサービスの提供場面において心掛けをしている。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	パンフレットに明記、又、ホームページ立ち上げで、理念の紹介をしている。理念の達成を目指し、家族・地域に向け、毎月の広報紙の発行や地域や関係事業所等の集りで、広報活動を行っている。	
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	入居者の散歩や買い物等で、入居者・職員がお互い隣近所との声をかけあいしている。柑橘類や野菜等の頂き物もみられる。又、地域の交流会にも参加している。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区の行事や事業所の祭り等、お互い交流の場をもうけている。又、年に1回子供会で児童が来所され、入居者と交流をしている。地域で運営している販売所にて買い物をしている。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>実習生の受け入れを進んで行っており、又、地域にボランティアの声かけを行っている。事業所として傾聴ボランティアの育成の取り組みをしている段階である。</p>	
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>年1回であるが自己評価を全職員で取り組んでいる。各館（ユニット）で評価することで、館（ユニット）によって出来ていない箇所がある場合は、意識して取り組むようにしている。</p>	
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議で入居者の概要や、行事等の報告を行っている。メンバーに地区の区長・入居者の家族代表・行政の方を交え、意見交換をしている。</p>	
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議はもちろん、行政の担当窓口や包括支援センター等に電話や訪問等で地域密着型サービスとして連絡・連携を図っている。ケアマネ連絡協議会等で情報提供や意見交換をしている。</p>	
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>地域権利擁護事業や成年後見制度についてのパンフレットをファイルし、玄関に設置している。以前に入居者・家族が成年後見人を立てたケースがあり、知識として学ぶ機会があった。</p>	
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修や包括支援センターの報告により虐待についての基本的な心構えやネットワークについて学んでいる。「高齢者と家族との関係の理解」について、職員に資料を配布するなどし、家族の相談に応じて、虐待がおこらないよう注意を払っている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	訪問等で説明し、入居希望時は、契約を交わすにあたり十分な時間をとって説明を行っている（特に入院になった場合や、料金について）。家族が質問しやすい環境を作っている。法改正等で内容が変わった場合は、全入居者に、重要事項説明を行い同意書を交わしている。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々の入居者の生活で、入居者が発した声を大事にし、ケアにつながるようにしている。問題解決に向け、必要に応じ会議にかけている。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	金銭管理については、出納帳を作り、3カ月～6カ月に1回、家族に見せサインを頂いている。職員の異動も個別に報告している。入居者の健康状態については、面会時に、急ぎ事がある場合は、緊急連絡網で電話で報告をしている。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会を年3回程度を設けている。会長が用意された出欠確認表の意見欄に回答を返すようにしている。又、運営推進会議や気づき箱を設置し、窓口を設けている。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	所長・管理者を交え、月1回3館合同の役付会議・及びスタッフ会議を開催している。又、運営会議（隣接の老健も含めた、全体の管理職会議）の報告を行っている。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入居者の状況で勤務体制を変える環境を作っている。時期により、職員の休みが取れにくい場合があるが、出来るだけ、管理者がシフトに入り、対応できる状態にしている。入居者の状況に合わせ、出勤時間を変更している。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>		
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>		
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>		
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用希望があったら、すぐにご本人に会いに行き、顔合わせをしている。実際に入居可能な状態で再度会いに行き、ご本人等に事業所の説明や生活について伝えている。ご本人に会うことで心身の状態や、訴え・希望を聞けるようにしている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用希望(相談等)があったら、ゆっくりと話す時間をとり、入居希望に至った経緯などをうかがっている。お申し込みがあれば、信頼関係を築く上で、2～3カ月に1度、待機状況等をお知らせし、連絡をとっている。	
25	○初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	早急な対応が必要な相談者には、併設の老健施設や、地域包括支援センターと相談しながら、他の事業所のサービスも検討し、入居可能な状態の時に、面談等を行い、サービス開始ができるようにしている。	
26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が納得した上で、利用開始をするように務めている。不安であれば、見学して頂き、その場の環境を見て頂いている。開始後、慣れるまで、家族も宿泊出来ることを伝えている。	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	食事の味付けを見てもらったり、調理方法を聞いたりしている。 感情失禁している入居者がいる時は、落ち着くまで、しばらく寄り添い話を聞いている。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>		
29	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>		
30	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>		
31	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>		
32	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話の中で、本人・ご家族のニーズを把握している。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の面談時や、入居後の面会時に、どのような生活をしていたのか聴いている。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	入居前、ご家族に一月の過ごし方を聞いている。又、入居者の一人ひとりの行動を観察し、把握するように努めている。	
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	生活歴やなじんだ過ごし方を継続すべく、職員以外に、本人やご家族や知人の意見を収集、勘案し、プランニングしている。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月毎に中間評価、6ヶ月毎に職員でカンファレンスを行っている。カンファレンスに参加できない職員には意見書を提出させ、新しい介護計画を作成している。状態変化のある入居者については、その都度介護計画の見直しを行い新たな介護計画を作成している。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や、特記事案については、各勤務者が随時、カルテに記入。情報共有については、連絡ノートを活用している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携体制加算による看護師の配置及び、各館1名の看護職を配置している。受診困難な入居者や対応困難な家族については、臨機応変に職員が対応している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアの呼びかけをし、来て頂いている。消防職員にも年2～3回来て頂き消防訓練の評価を頂いている。近隣の学校の実習施設としてや、体験ボランティア、ワークキャンプ等、受け入れしている。		
41	○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ボランティアの活用、訪問理美容、訪問歯科サービスの実施。		
42	○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	困難事例（徘徊）で地域包括支援センターと相談。徘徊センサー等で地域の協力を得ながら、入居者支援を行っている。		



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族が希望するかかりつけ医となっている。歯科受診については、ご家族の同意で訪問診療をしてもらっている。緊急性がある場合は、事前に病院を選んでもらっているので、協力病院での対応が可能であるように、同意を頂いている。		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力病院の医師又は、併設の老健施設の医師により、指示や助言を頂いている。又、併設の医師より、専門医の紹介を頂いており、受診している。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	各館に看護職を配置している。又、夜間緊急時は併設の老健施設の看護職に連絡・対応ができる体制にしている。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院した時、退院予定期日を確認し、家族や医師・ケースワーカーと相談しながら、早期退院に向け、調整しており、受け入れがスムーズにいくよう、情報交換をしている。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に向けた方針は作成し、かかりつけ医との連携が出来るような体制にしている。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	協力病院で対応して頂いている。重度化や終末期に向けた対応ができるよう連携を取りながら進めていくよう会議等で話し合いを行っている。	○	看護職を中心として、看取りをしたことのある、他のグループホームと情報交換をしていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>センター方式の一部を取り入れ、アセスメントし、サービス計画書作成をしている。出来る限り、住み慣れた生活環境につなげている。</p>	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>			
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居者になじみのある名前と呼んでいる。個人記録に関しては、イニシャルや番地名で記入している。</p>	<p>○</p> <p>介助の際、大きな声で声かけをしている時がある為、プライバシーに配慮した声掛けをしていきたい。</p>
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>本人の好きな食べ物、飲み物を聞き、おやつやお茶の時間などに提供する場を作っている。</p>	
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>大まかな日課、あるいはタイムスケジュールは存在するが、本人の意思や希望等に合わせ、その都度支援している。</p>	
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>毎朝起床後のモーニングケアを実施。整容に努めている。理美容については、必要に応じ、訪問美容や家族対応にて、なじみの業者へ通っている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	配膳、後片付けや味付け等で、利用者に協力をもらいながら食事を行っている。		
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒を好む方は、家族会やドライブ、外食等で飲酒されている。 おやつなど、サツマイモを使用すると喜んで下さり、多く取り入れている。 嫌いな物は入れない様、注意している。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表をチェックし、声掛けを行い誘導している。又、拒否のある入居者については、時間をおいて声掛けをしている。	○	意思疎通の困難な入居者について、排泄パターンを把握し、支援して行きたい。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	羞恥心のある方は、同性スタッフが介助を行っている。基本的に拒否のある方は無理に誘導せずに入りたい時、好きな時間に入浴して頂く。	○	入居者の好きな時間帯に入浴できる様、支援して行きたい。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夜間不眠の方には、スタッフが寄り添い話を傾聴したり、ご家族から預かっているアルコールを少量飲まれたりすることもある。 日中はレクリエーションや散歩などしている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家族会、ドライブ、誕生会など楽しんで頂く。 洗濯物たたみや食器洗いなど、他入居者やスタッフと会話を楽しみながら行っている。		


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は施設で管理しているが、希望される入居者の方には、ご自分で管理して頂く様にしている。 外出された時、自分で支払いをされる方については、見守りをしている。		
61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	帰宅願望があったりした時は、スタッフと個別にドライブなど行く。		
62	○普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ドライブなど外出する機会を作っている。又、入居者の希望があれば、その都度買物やドライブに行っている。		
63	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	公衆電話を設置しており、家族との連絡などに使用して頂いている。また訴えがあった時には、家族了解の上、支援している。 手紙が届いた場合は、本人様へ直接お届けしている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問時には、出迎え、来所持にはお見送りをしている。又、お茶の準備、配膳をし、入居者とゆっくり会話出来るよう配慮している。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修会などに参加し、得た知識を、スタッフ会議や回覧物に綴り、全職員の意識付けをしている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	○	「事故及びひやりはっと」のファイルを職員全員が閲覧できるように周知徹底していきたい。
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	今後も応急手当の勉強会を実施し、事故発生後の対応に役立てたい。
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている</p>		
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>		
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	年1回インフルエンザの予防接種を勧め、全員が実施している。予防と発生時のマニュアルに沿って行っている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所内の衛生面については、各館取り決め事項で実施している。食材については、各業者に毎日から週2回の配達をして頂き、残り物が出ないように料理を行っている。併設の老健施設の衛生管理委員会で勉強会を実施、参加している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	純和風造りの建築で、木を生かした表札や門構えをしている。玄関の入り口にプランターや鉢を置き、家庭的な雰囲気を出すよう努めている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には季節の花を飾っている。又、季節の行事に合わせて、入居者と職員でかざりつけをしている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	談話室が2ヶ所あり、また廊下にソファを設置し、自由にくつろげるよう環境づくりに努めている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	和室6・洋室3の居室があり、入居者の個性に 合わせた部屋造りがされており、馴染んだ生活 用品や仏壇が持ち込まれ、快適な生活空間とな っている。又、家族の写真を壁一面に貼られて いる入居者もおられる。		
84	○換気・空調の配慮  気になるにおいや空気のだよみがないよう 換気に努め、温度調節は、外気温と大きな 差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	居室、リビング、廊下の戸を定期的に開け空 気の入れ替えをしている。 各居室にエアコンが設置されており、入居者 の状態に合わせて調節している。		
<b>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能を活 かして、安全かつできるだけ自立した生活 が送れるように工夫している	手すり、浴槽内のすべり止めマットなど、でき るかぎり自立した生活ができるよう工夫してい る。	○	居室（畳部屋）、談話室の手摺の設置
86	○わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	場所表示(便所・風呂)など、入居者の目の高 さに合わせている。また、夜間はトイレの場所 が分かるよう、常にトイレの電気をつけるよ うにしている。		
87	○建物の外周りや空間の活用  建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	庭でバーベキュー、園芸ができる環境があり、 家族会で楽しむ空間として利用している。ひ なたぼっこをしている入居者もいらっしゃる。		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



V. サービスの成果に関する項目		＜東 館＞
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

四方を囲まれた丘にあり、陽射しの絶えない明るい施設で、みかんの花や、桜の花が咲く、景色の良い場所にあります。建物は、平屋建てで、談話室に囲炉裏を設けるなど、昔の雰囲気と懐かしさを感じながら生活していけるようにと、生活環境に工夫がされています。当事業者は、3ユニット定員27名で、理念「私らしく、そして貴方らしい生活の継続を、豊かな心で、ゆったり寄り添って」を挙げ、その入居者の生活リズムに合わせ、支援をしております。併設に老健施設があり、施設の利用者の方々との交流が楽しめます。緊急時にも、直ぐに連携がとれる体制になっています。開設時より家族会が発足され、年に3回程度家族会を行い、家族、入居者、職員との交流の場を作っています。老健施設との合同の秋祭り・花見会もあります。情報開示(発信)の一環として、ホームページを設置しており、施設の概要や行事等を掲載しております。○各ユニット毎に年間計画(買い物・ドライブ、お楽しみ会、おやつバイキング・料理を作ろう会等)を立て、取り組んでいます。家族等も参加して頂き好評であります。○入居者の無断外出防止対策(GPSセンサー等)にも注力しています。